



TECHNICAL SPORTS RACING

TSR / TECHNICAL SPORTS RACING

TEL : +81 (0)59-378-1455 FAX : +81 (0)59-378-6192

E-Mail : info@tsr.jp.com

三重県鈴鹿市住吉町6786 〒513-0825  
6786 SUMIYOSHI-CHO SUZUKA Mie 513-0825, JAPAN

第2版 2012/05/10

品番: 5002P-S59-A0B

品名: '08- CBR1000RR 2P-STEP KIT BLACK

この度は「TSR CBR1000RR 2P-STEP KIT」をご購入いただきありがとうございます。御座いました。

取付け作業、ご使用は当説明書をご参考の上、安全な取扱いをお願い致します。

**開封後、製品の装着前にご確認下さい。**

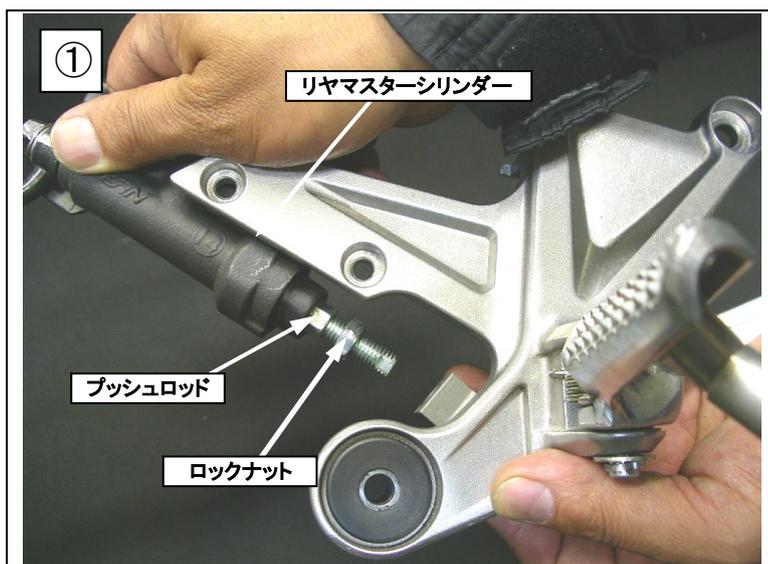
1. 付属のパーツリストを参照頂き、梱包部品に不足や間違いが無いかを確認下さい。
2. 製品に傷等、外観上の不具合が無いかをご確認下さい。
3. 梱包品の不足、製品の不具合等がございましたら速やかにご購入の販売店、または弊社までご連絡下さい。
4. 装着後の傷等に対する返品、交換には応じかねますのでご了承下さい。

**取付け作業及びご使用上の注意事項**

1. 取付け作業はエンジンが冷えている時に行ってください。また、車体の安定する場所にて行って下さい。
2. 純正部品の取外し、組み付けに対しての不明点は純正サービスマニュアルを活用下さい。

**製品の設計、製造上の品質及び取付け時の特別事項**

1. このステップKITは、仮組み立て状態で梱包・出荷致しております。装着時に、必ずボルト・ナット類の締め付け確認をお願いします。
2. 製品の取付けは整備技能・整備資格のある方およびオートバイショップ様を対象としております。
3. 適応車種以外には装着を行わないで下さい。
4. 1up-5down(レーサーパターン)で使用する場合は、ドライブsprocketカバーの切削、Lアンダーカバーの取外しまたは切削が必要になります。



**1. 純正ステップの取外し**

**○R側純正ステッププレートの取外し**

図①リヤマスターシリンダーのプッシュロッドに装着されているロックナットを緩めます。

リヤマスターシリンダー取付けボルトを外し、ステッププレートからマスターシリンダーを外します。Rステップ ASSY を回転させて、プッシュロッドとリヤブレーキペダルとの接続を外して、Rステップ ASSY を取外します。

リヤブレーキランプスイッチに取付けられているスイッチスプリングは再使用します。

**○L側純正ステッププレートの取外し**

ステッププレートマウントボルトを外し、Lステッププレート ASSY を取外します。

図②純正チェンジペダルをチェンジロッド上下部ロックナットM6緩めて取外します。M8ワッシャーは再使用します。

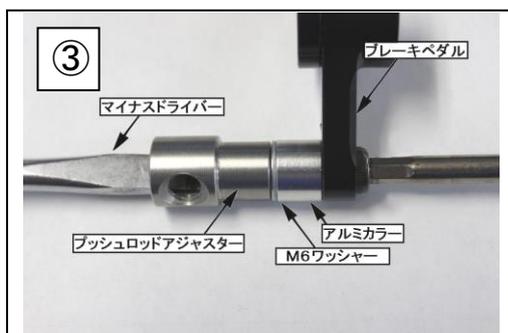
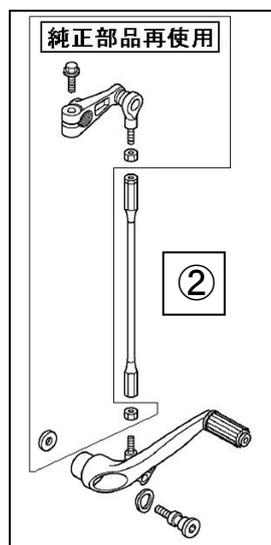
**○TSRバックステップ取付け**

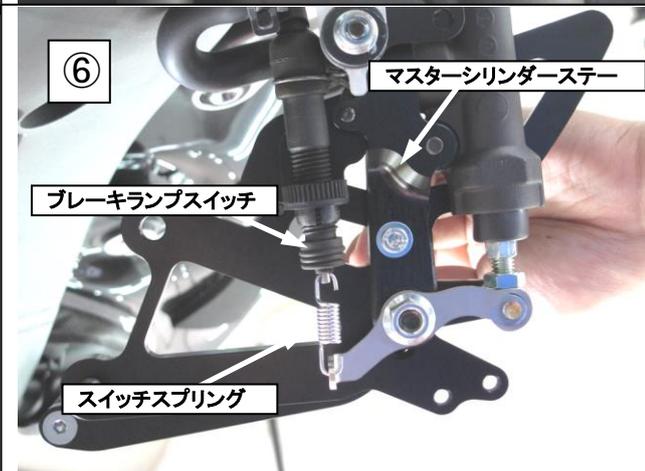
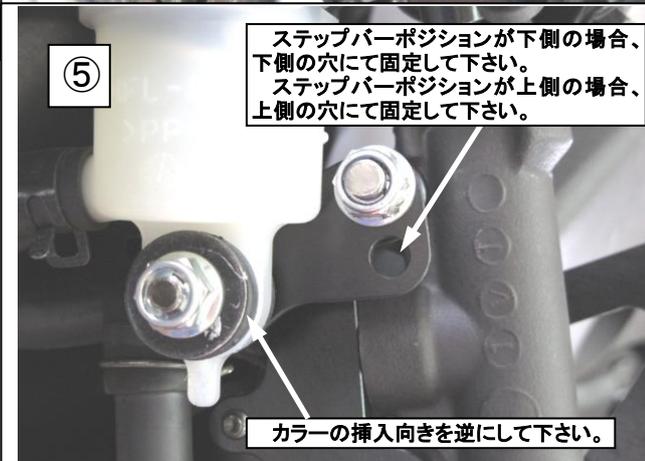
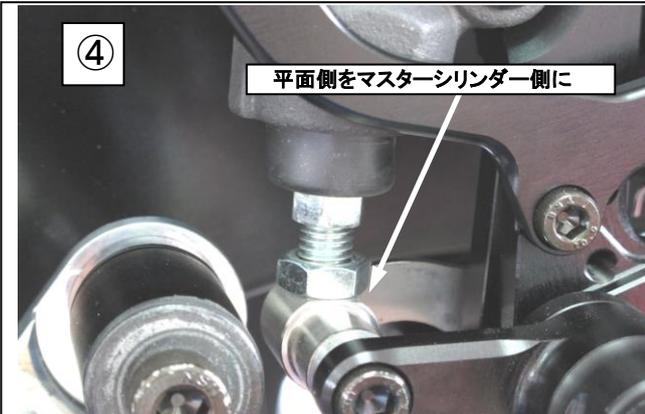
**※本製品は仮組み状態で出荷していますので、必ず各部締め付け確認を行ってください。**

**2. プッシュロッドアジャスター取付け**

図③ブレーキペダルに取付けられている、プッシュロッドアジャスターをマイナスドライバーと六角レンチで締め付けて下さい。

**注意** M6ワッシャーを外さないで下さい。プッシュロッドアジャスターとアルミカラーを直接閉めこむとプッシュロッドアジャスター部の面圧が高くなり、アルミカラー取付け面の座屈につながる恐れがあります。





### TSR バックステップの取付け

※本製品は仮組み状態で出荷していますので、必ず各部締め付け確認を行って下さい。

### 2. R側ステッププレートの取付け

図④プッシュロッドとプッシュロッドアジャスター(平面側をマスターシリンダー側)に連結します。

図⑤、⑥、⑦、⑨マスターシリンダーをマスターシリンダーステーに取付けます。

リザーバタンクのマウントラバーに使用しているカラー(純正部品)の挿入向きを逆にして取付けます。(パーツリストの図を参照下さい)

リザーバタンクをM/Cタンクステーに取付けます。

※M/C タンクステーをマスターシリンダーステーに取付ける際、ステップバーポジションが下側の場合、下側の穴にて固定して下さい。ステップバーポジションが上側の場合、上側の穴にて固定して下さい。

図⑥、⑦ブレーキランプスイッチをスイッチステーAに取付け、スイッチスプリングをスイッチとスイッチステーBに取付けます。

図⑧付属のキャップボルトM8x20にて、ステッププレートを取付けて下さい。

マフラーステー部にマフラーを取付けて下さい。

サイレンサーの穴位置が合わない場合は、フランジボルト M6x12を緩めて調整して下さい。

### 3. ブレーキペダル高さ、ランプスイッチの調整

リアブレーキマスタープッシュボルトをスパナにて回し、ブレーキペダルの高さを好みに調整し、ロックナットを固定して下さい。ブレーキランプスイッチの高さ調整をし、ブレーキランプの点灯位置を調整して下さい。

※注意 ブレーキペダルの高さ調整を行った場合、ブレーキスイッチの点灯位置も変わる為、必ずブレーキ灯の点灯確認を行って下さい。

※注意 リアブレーキリザーバタンクホースの取回しに注意して下さい。折れ曲がった状態で使用するとリアブレーキの動作不良等、事故につながる恐れがあります。

### 4. R側ステップの確認

各部が干渉していないか確認します。

全体のフィッティングを確認して、各部の締め付けを行って下さい。

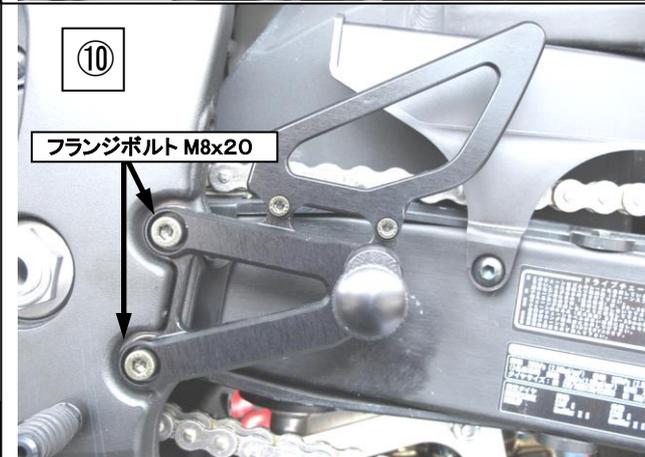
リアブレーキペダルを踏み込み、ストップランプが点灯するか確認して下さい。点灯しない場合は再度調整して下さい。

また、定期的に各部緩み等ないか確認して下さい。





⑨



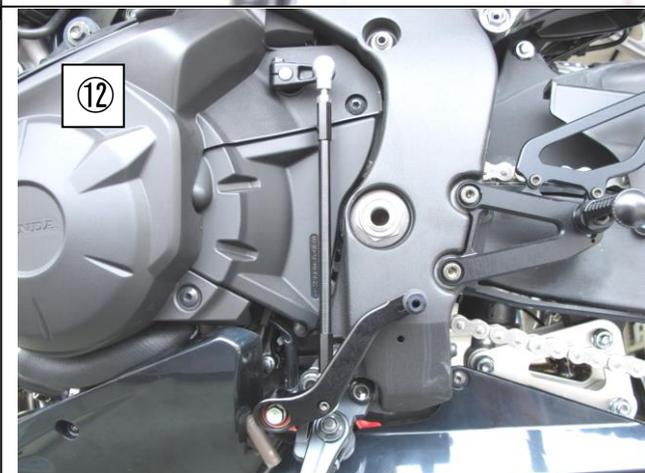
⑩

フランジボルト M8x20



⑪

純正部品再使用



⑫

### 5. L側ステップ取付け

図⑩付属のキャップボルトM8x20にて、ステッププレートLを装着して下さい。

図⑩、⑫を参考にナットM6,L、ナットM6,R、純正チェンジアーム、チェンジアーム取付けボルト、M8ワッシャーを再利用し、チェンジペダルを取付けます。

チェンジペダルの高さ調整は、ナットM6,L、ナットM6,R、を緩め、シフトロッドを回して調整します。

**注意** チェンジペダルの高さ調整は、シフトロッドのねじ部が最低6mmかかる範囲で調整して下さい。6mm以下で使用しますと、ねじ部の破損や、変形につながる恐れがあります。

### 6. L側ステップの確認

走行される前に、各部が干渉していないか確認します。

チェンジペダルを動作させて確認して下さい。

全体のフィッティングを確認し、各部の締め付けを行って下さい。

また定期的に各部緩み等ないか確認して下さい。

### 1up-5down(レーザーパターン)で使用する場合

純正チェンジアーム、シフトロッドが干渉しますので、Lアンダーカバーの取外しと、ドライブsprocketカバーの切削が必要になります。

図⑬を参照にチェンジ操作に支障の無い様、ドライブsprocketカバーを加工して下さい。



⑬

1up-5down(レーザーパターン)

ドライブsprocketカバー 切削見本

